



平成24年1月11日

各位

公開シンポジウムのご案内

(財)日本国際問題研究所

アラブ諸国それぞれの「春」—民衆運動と政治変動が問いかける課題—

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当研究所にご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当研究所では、公開シンポジウム「アラブ諸国それぞれの『春』—民衆運動と政治変動が問いかける課題—」を、下記の通り開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

貴殿ご周知の通り、中東アラブ諸国において、2011年1月以来、大きな政治変動が起こっております。

チュニジアとエジプトでは、大規模な民衆デモが、長期間にわたって独裁的な統治を続けてきたベン・アリー大統領とムバーラク大統領を退陣に追い込み、リビアにおいては、民衆蜂起によってカザーフィーの独裁体制が打倒されました。その一方で、シリアにおいては、アサド政権と反政権勢力の抗争が続き、多くの犠牲者を出しております。また同様に、イエメンにおいても衝突が繰り返され、混乱が收拾される見通しは立っておりません。こうした一連の出来事は、権威主義的独裁体制を民衆運動によって打倒する民主化の潮流、いわゆる「アラブの春」として高く評価される一方で、民族・宗派対立など、様々な不安定要因を抱える中東地域をさらに不安定化させるのではないかと懸念も引き起こしております。

そのような中で、このシンポジウムでは、中東アラブ諸国における民衆運動と政治変動をどのように理解し、中東地域に民主的な社会と政治的安定を両立させるために当該諸国と日本を含めた国際社会がどのような取り組みをするべきかを考察していくことを目的に企画されました。

殊更、上述の民衆運動や大規模デモにおいては、衛星メディアやインターネットとともに、20代、30代の若年層が重要な役割を果たしてきております。このことから、本シンポジウムには、アラブ各国の政治や社会を多年にわたって研究してきた指導的研究者とあわせて、研究を通じて国の内外から民主化運動に関わってきたアラブ諸国出自の中堅・若手研究者のほか、民主化運動の活動家やジャーナリストらを招きました。様々な立場からアラブ諸国の現実を見てきた当該諸国出自の参加者と日本の中東研究者との広範な議論を通して、「アラブの春」の1年の推移を整理し、その背景の検証と今後の展望を得ようとするものです。

つきましては、ご多忙とは存じますが、何卒ご出席いただければ幸いに存じます。ご出席いただけます場合にはお手数ですが、別添のご出席回答用紙にご記入の上、FAX又はe-mailにて1月26日(木)正午までにご返送下さいませようお願い申し上げます。なお、お席に限りがございますので定員に達した場合は締切らせて頂きますので予めご了承ください。 敬具

記

1. 日時： 1月29日(日) 09:45-17:30
2. 場所： 上智大学図書館講堂9階(911号室)(東京都千代田区紀尾井町7-1)
3. プログラム： 別添ご参照
4. 言語： 英語(日英同時通訳付)
5. 入場料： 無料

以上

(お問い合わせ先)

研究員：森山 央朗 / 研究助手：園田 弥生

TEL：03-3503-7801 / FAX：03-3503-7186

2012年1月11日現在

公開シンポジウム

アラブ諸国それぞれの「春」 — 民衆運動と政治変動が問いかける課題 —

主催：日本国際問題研究所（JIIA）

共催：NIHU プログラム・イスラーム地域研究（IAS） 後援：日本国際協力財団

2012年1月29日（日）開催

於： 上智大学図書館講堂 9階（911号室）

◆プログラム

09:45－10:00 開会の辞：野上 義二（日本国際問題研究所理事長）

【第1セッション】 二つの革命：チュニジアとエジプトにおける成果と課題

10:00－12:15

<司会> 私市 正年（上智大学外国語学部・アジア文化研究所教授）

<講演者>

チュニジア情勢：ムハンマド・サラーフ・ウムリー（オックスフォード大学東洋学部講師）

エジプト情勢：ナビール・アブドゥルファッターフ（アフラーム政治戦略研究センター顧問）

<討論者>

岩崎えり奈（共立女子大学准教授）

ウマル・ブーイスィー（チュニジア民主化運動活動家）

長沢栄治（東京大学教授）

保坂修司（日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事）

ムティーミト・ナーズィム（カルタゴ大学助教）

12:15－13:00 休憩

【第2セッション】民主化か混乱か：シリアとイエメン

13:00－15:00

<司会> 松本 弘（大東文化大学教授）

<講演者>

シリア情勢：ウバイダ・ファーリス

（発展と市民社会のためのアラブ協会会長／シリア民主化運動活動家）

イエメン情勢：ムハンマド・アル＝アスアディー

（フリーランス・ジャーナリスト／イエメン民主化運動活動家）

<討論者>

今井宏平（中央大学大学院博士後期課程）

川嶋淳司（放送大学非常勤講師）

森山央朗（日本国際問題研究所研究員）

15:00－15:15 休憩

**【第3セッション】「春」の周辺：アメリカ、パレスチナ、イスラエル、湾岸諸国、
イランの関与と影響**

15:15－17:15

<司会> 立山良司（防衛大学校教授）

<講演者>

中東の現状から見たアメリカの中東政策：ワリード・ハズブーン

（バイルート・アメリカン大学准教授）

パレスチナ・イスラエル情勢への影響：カリーム・マクディスィー

（バイルート・アメリカン大学准教授）

<討論者>

池田明史（東洋英和女学院大学教授）

江崎智絵（中東調査会研究員）

坂梨祥（日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員）

堀抜功二（日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員）

17:15－17:30 閉会の辞：私市正年（上智大学教授）

(FAX:03-3503-7186 / e-mail: sympo120129@jia.or.jp)

公開シンポジウム 参加申し込み用紙

アラブ諸国それぞれの「春」—民衆運動と政治変動が問いかける課題—

* 出席をご希望の方は、1月26日(木)正午までに、所定の事項をご記入の上、FAXにてご返送下さい。英語表記もご記入願います。

ご芳名(日) _____

(英) _____

ご所属(日) _____

(英) _____

お役職(日) _____

(英) _____

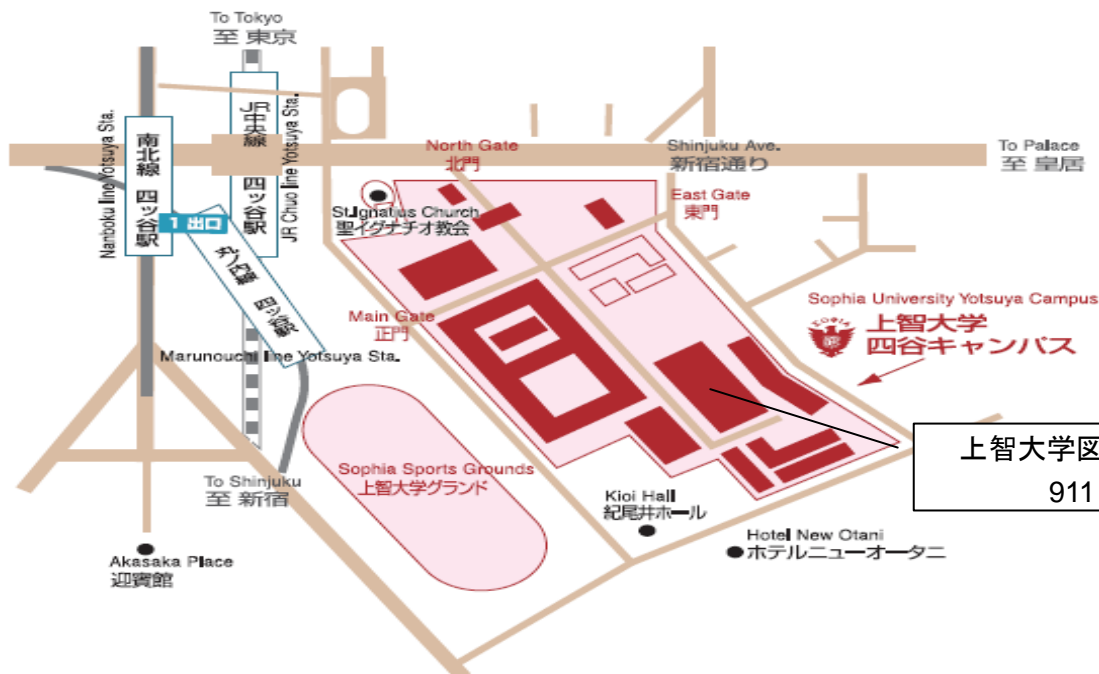
ご連絡先(電話/FAX) _____

(e-mail address) _____ @ _____

【会場所在地】東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学図書館講堂 911号室
(JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麹町口・赤坂口から徒歩5分)

*弊所主催シンポジウムとしては初めての会場ですので、ご来場の際はご注意ください。

● 四谷キャンパスアクセスガイド
Yotsuya Campus Access Guide



上智大学図書館内講堂
911号室